

恒例のはしご乗りに3人挑戦

上浦幌ひまわり保育園おゆうぎ会
11月25日(土)、上浦幌ひまわり保育園(阿部茂子園長)でおゆうぎ会が開催されました。

上浦幌ひまわり保育園のおゆうぎ会で恒例となっている5歳児によるはしご乗りには、今年は3人の園児が挑戦し、二本腹亀などの技を決める度、観覧席から大きな拍手が送られました。

このほかにも、歌やおどり、跳び箱やフラフープなど、園児21人が家族に日頃の練習の成果を披露しました。



三島組の地域貢献に感謝状



9月24日(日)のふるさとのみのり祭りを前に、会場となる森林公園の駐車場周辺の草刈りを行った株式会社三島組(幕別町)に対し、11月13日(月)、浦幌町から感謝状が贈られました。

国道38号浦幌トンネルの補修工事に携わる同社は地域貢献事業として9月21日(木)、人員4人を動員して同駐車場の草刈りを実施し、観光振興や景観保全・環境美化に貢献しました。三島徹朗代表取締役は、「少しでも良い環境でお祭りを迎えてもらえてよかった」と話していました。

第42回定期演奏会開く

うらほろサロンコーラス (井下まさの代表) の第42回定期演奏会が、11月25日(土)、中央公民館で開催されました。

第1ステージは女声3部合唱で「浜辺の歌」「宵待草」など5曲を歌い、「365日の紙飛行機」では紙飛行機を飛ばす演出も。第2ステージでは浦幌町出身のソプラノ歌手・黒川仁美さんが「献上」など3曲を独唱し、聴衆を魅了しました。第3ステージでは会場と一体となって「母さんの歌」など5曲を歌ったほか、途中、伴奏者の西田祐子さんがミュージック・ケアの指導も行い、皆で体を動かしました。



老人ホームで職人芸を披露



浦幌手打ちそば愛好会(須藤富康会長)は11月29日(水)、特別養護老人ホームはまなす園(上村健二施設長)を訪問し、入所者やデイサービスセンター利用者に手打ちそばを提供しました。

「皆さん毎年楽しみにしている」(上村施設長)という14年目の恒例行事。須藤会長ら6人が訪問し、うち4人が浦幌産キタノマシウのそば粉を使って、つなぎを入れ練り上げ、棒で伸ばし切り分けるまでの職人芸を披露しました。出来上がったそばは昼食に提供されました。

同会は30日(木)には養護老人ホーム「ラポロ」(前田勇所長)を訪問しました。

※広報誌で紹介できなかった行事等は町ホームページの「日々の取材」で紹介しています